

## 公的年金の運用改革

2008. 2. 7

企業年金連合会 矢野朝水

### 1 公的年金（厚生年金、国民年金）積立金の運用の経緯

#### （1）年金制度発足～2000年年金法改正

統合運用（大蔵省）VS福祉運用（厚生省） → 資金運用部への預託と還元融資  
（年金福祉事業団）

#### （2）2000年年金法改正

預託廃止、自主運用＝年金資金運用基金（2001. 4.1）

→ 年金積立金管理運用独立行政法人（2006. 4.1）

（背景）財投機関を通じた非効率運用、不良債権の発生、年金福祉事業団の借り入れ運用の構造的赤字問題、年金積立金の効率的運用による将来負担の軽減

### 2 公的年金運用の仕組み

厚生労働省 独立行政法人評価委員会 年金部会；中期目標設定、毎年度の業績評価等

年金積立金管理運用独立行政法人 運用委員会；ポートフォリオを含む中期計画及び業務方法書の審議、管理運用業務の監視等

### 3 公的年金の運用の現状（資料（1）（2））

### 4 公的年金の運用改革の方向

（1） 基本ポートフォリオの見直し、運用の多様化（株式、海外投資、代替投資等）

（2） ファンド分割

（3） 運用体制の整備、専門性の向上（独立行政法人としての一律の規制撤廃）  
（現行規制）

一般管理費；2006年度～2009年度で2005年度比12%以上の削減  
このうち人件費；2006年度～2009年度で2005年度比4%以上の削減  
業務経費；2006年度～2009年度で2005年度比4%以上の削減

（4） ガバナンス強化（独立性、権限、専門性）

（5） その他、移転問題（2009年3月末までに神奈川県に移転）

参考；海外公的年金の運用状況（資料（3））

### (1)国内公的年金の積立金

名称	年金積立金
厚年・国年	149.1兆円
国共済	9.2兆円
地共済	38.8兆円
私学共済	3.6兆円

(注)2007年3月末

### (2)厚年・国年積立金全体の資産構成割合

#### 1. 年金積立金管理運用独立行政法人が管理する資産

**114.5兆円**

(内訳)

	時価総額	構成比
国内債券	73.8兆円	64.4%
国内株式	19.1兆円	16.6%
外国債券	9.1兆円	7.9%
外国株式	12.6兆円	11.0%
合計	114.5兆円	100.0%

(注)国内債券には財投債を含んでいる。

#### 2008年度末基本ポートフォリオ

	構成比
国内債券	67%
国内株式	11%
外国債券	8%
外国株式	9%
短期資産	5%

#### 2. 財政融資資金への預託金等

**42.2兆円**

#### 3. 旧年金福祉事業団からの承継資産の市場運用分

**△7.6兆円**

(旧大蔵省資金運用部からの借入金残高)

#### 合計(1+2+3)

**149.1兆円**

(注)2007年3月末

(資料)各年金制度のディスクロージャー資料より作成

### (3) 海外公的年金の資産運用状況

名称		ノルウェー	スウェーデン	カナダ	アイルランド
		政府年金基金－グローバル (The Government Pension Fund – Global)	スウェーデンAP基金 (5基金)	カナダ所得比例年金 (Canada Pension Plan: CPP)	アイルランド国民年金積立基金 (National Pension Reserve Fund)
年金積立金		34.6兆円	14.4兆円	12.3兆円	3兆円
資産構成	債券	59.3%	59.3%	25.0%	13.3%
	株式	40.7%	36.9%	64.8%	77.1%
	その他	–	3.8%	10.1%	9.5%
自家運用		有り	有り	有り	有り
運用・管理		ノルウェー中央銀行投資運用局(NBIM)	各AP基金理事会	カナダ年金制度投資委員会(CPPIB)	国民年金積立基金委員会(NPRFC)
運用部門スタッフ		151名	240名	約260名	84名(2003年)

(注)カナダ所得比例年金は2007年3月末、それ以外は2006年12月末

(資料)各年金制度の「年次報告書」

年金総合研究センター、「諸外国の年金運用組織の実態調査に関する研究」

野村資本市場研究所、「資本市場クォーターリー 2007 autumn」